



2学期もお世話になりました ~明日から冬休み~

保護者の皆様のご協力をいただき、本日2学期を終了することができました。約四ヶ月間の2学期は、運動会や5年生の宿泊学習、6年生の修学旅行、各学年の校外学習や親子行事、持久走大会などなど、大きな行事が目白押しでした。コロナウイルス感染症の影響が常に心配される状況でしたが、全ての行事がほぼ予定通りに実施でき、終わってみれば充実した2学期になったのかなと思います。保護者の皆様には、様々な面でご配慮とご協力をいただいたことに、深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

さて、明日から17日間の冬休みに入ります。年末年始はいろいろと忙しい時期ではございますが、家族がそろって過ごせるとても貴重な時間でもあります。家族団らんのひとときを楽しみつつ、安全かつ健康で充実した冬休みをお過ごしください。



【本日の終業式でのお話】

みなさん、おはようございます。今日は2学期の終業式です。明日からみなさんは、17日間の冬休みに入ります。1学期と同じ様に、このあと担任の先生から通知表が渡されますので、2学期にあった、運動会や持久走などの行事、毎日の教室での勉強や友達との遊びの様子などを思い出しながら、自分の頑張ったこと、今ひとつうまくいかなかったところを振り返って、新しい目標を立ててください。そして、楽しく、健康で安全な毎日が過ごせるように「冬休みの約束」をしっかりと守り、規則正しい生活をして欲しいと思います。

さて、明日から冬休みを迎えるみなさんに、ひとつ、昔話をしたいと思います。聞いたことがある人も、よく聞いてください。

昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちに言いました。

「元日の朝、私の所に新年の挨拶に出かけて来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう」

動物たちは、おれが一番になってやると、張り切って元日が来るのを待っていました。ところが猫は神様のところに、いつ行くのか忘れてしまったので、ねずみに訊くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやりました。猫はねずみが言うことを信じて喜んで帰っていきました。

さて元日になると、牛は「ぼくは歩くのが遅いから、一足早く出かけよう」と、夜のうちから支度をし、まだ暗いうちに出発しました。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、ぽんと牛の背中に飛び乗りました。そんなこととは知らず、牛が神様の御殿に近付いてみると、まだ誰も来ていませんでした。

「我こそ一番」と喜んで待つうちに門が開きました。とたんに牛の背中からねずみが飛び降り、ちょろちょろと走って一番になってしまいました。それで牛は二番、それから虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順で着きました。猫は一日遅れで行ったものだから、仲間に入れませんでした。

それで猫はねずみを恨んで、今でも追い回しているそうです。

これは、日本の「干支」にまつわるお話でした。ここでみなさんに問題です。今年の干支は何でしょうか？そうです。今年の干支は「寅」です。今年「寅年」ですね。先ほどの昔話の中で、神様のところに3番目に到着した「寅」が今年の王様でした。では、来年の王様は何の動物でしょうか？そうです。4番目にゴールした「兎」です。来年は兎年、兎が王様になる年です。

私たちが過ごす1年の中で、ちょうど冬休みに迎える、年末・年始の時期には、日本に昔から長く伝わる伝統や古い行事がたくさんあります。お正月もそのうちの一つですね。

12月31日大晦日の除夜の鐘、お正月にひょっとしたらもらえるお年玉、年賀状、初詣、餅つき、お雑煮、おせち料理、書き初め、カルタ遊びやたこあげ、などなど、まだまだたくさんありそうですから、みなさんも考えてみてください。

校長先生からの冬休みの宿題は、これらの日本の伝統に一つでも多く触れること、そして、その良さをしっかりと感じることです。

みなさんが充実した冬休みを過ごして、元気いっぱい1月10日に登校してくる姿を楽しみにしています。校長先生の話が終わります。

